

保健だより



来年度入学者選抜に伴う家庭学習が多かった2月前半でしたが、少し疲れをとることができましたか？ 課題に取り組むだけでなく…撮りためていた録画を見たり、好きなアーティストのPVを見たり、読書をしたり、部屋と引き出しの整理をしたり、プリント類の整理をしたり…といった



様々な "やりたかったこと" も出来たのではないのでしょうか？

フル充電して免疫力もアップしたことと思いますが、感染症への予防対策は引き続きしっかり実践していきましょうね !!

【読売新聞】

コロナ都内 0.91% に抗体 厚労省調査 無症状多数 浮き彫り

厚生労働省は5日、昨年12月に行った新型コロナウイルスの感染歴を調べる抗体検査の結果、抗体を持つ人の割合は東京で0.91%、大阪で0.58%、愛知で0.54%、福岡で0.19%、宮城で0.14%だったと発表した。PCR検査などで判明した累積感染者数の数倍にあたり、感染に気づかずにごす人が多数いる実情が浮き彫りになった。

今回は昨年6月に続き2回目。12月14～25日に、東京、大阪、宮城、愛知、福岡の5都府県の住民計約1万5000人を対象に実施した。

初回に比べ、抗体を持つ人の割合は東京は約9倍、大阪は約3倍、宮城は約5倍と大幅に増えた。ただ、多くの人に免疫がついて流行が収まる「集団免疫」の獲得には程遠い。

今回の調査の直前にあたる昨年12月上旬での累積感染者は、東京で約4万4000人、大阪で約2万3000人。今回の抗体検査の結果を基に推計すると、感染者数は東京で約13万人、大阪では約5万人になる。東京では8万人以上、大阪では3万人近くの差があり、行政で把握できなかったケースがあったとみられる。

一方、感染が急拡大している英国では、国家統計局が3日、ロンドンの住民は20%前後が抗体を保有しているとの推定結果を発表。米疾病対策センター（CDC）によると、米ニューヨークでは昨年夏に人口の2割が抗体を持っている状態になったとみられる。

東京都医学総合研究所の小原道法・特任研究員（感染免疫学）は「日本は、海外に比べ抗体を持つ人の割合がかなり低い。ただ、感染しても無症状で気づかない人が多くいることがうかがえるため、誰もが感染を広げる可能性があると考えて、感染防止策を徹底することが重要だ」と話す。

こんなにいた、症状のない感染者・・・果たして自分は!?

読売新聞社会面 2月6日（土）の記事を紹介しました。抗体検査とは「過去に感染していたかどうか」を調べることができる検査です。新型コロナウイルス感染症の抗体検査は昨年6月と12月の2回実施されていますが、その両方のデータがあるエリアでは「東京：0.10%→0.91%」「大阪：0.17%→0.58%」「宮城：0.03%→0.14%」と大幅に増えていることが分かります。そして記事にもあるように、抗体検査の結果を基に推計した感染者数と、実際に発表されている累積感染者数の差も著しく、感染していても無症状で行政が把握できていない感染者がこれほどまでに多いことが明らかになりました。「無症状だから安心」なのではなく「無症状だけれども感染しているかも」という視点で、日常生活の振るまいを見つめ直してみないといけなのかも知れません。

でも、「集団免疫」の獲得には至らないのです。

「集団免疫」とは…ある病原体に対して人口の一定割合以上の方が免疫を持つと、感染患者が出てても他の人に感染しにくくなることで感染症が流行しなくなり、間接的に、免疫を持たない人も感染から守られます…この状態を集団免疫と言い、社会全体が感染症から守られることとなります。



どの程度の割合で「集団免疫」の獲得となるのかは感染症の種類によって異なりますが、一般的には6割以上と言われています。

その視点で先ほどの記事を読むと、日本はまだまだ遠く及ばないことに愕然とします…。①「ワクチンの接種で抗体を獲得すること」と、②「感染症に感染することで抗体を獲得すること」により、集団免疫の効果が現れる

集団免疫閾値^{いきち}に近づいていくわけですが、①少なくとも1回のワクチン接種を終えた人の人口に占める割合が高いのは、アラブ首長国連邦：約41%、イスラエル：約40%、イギリス：約18%、アメリカ：約9%となっています（2/8発表）。②各国の感染者の割合をみると、アラブ首長国連邦：約3.3%、イスラエル：約8.0%、イギリス：約5.8%、アメリカ：約8.2%、日本：0.32%となっています（2/8発表）。ワクチンを接種した人の中には、過去に感染した人もいるでしょうし、感染した人の中には、すでに抗体が消えてしまっている人やお亡くなりになられたかたもいると思われるので、単純に①+②が抗体獲得率とはなりません、大まかな目安にはなるはず。①+②をみると、アラブ首長国連邦：約44.3%、イスラエル：約48.0%、イギリス：約23.8%、アメリカ：約17.2%、そして、まだ予防接種が始まっていない日本：0.32%となり、約6割という集団免疫閾値^{いきち}には遠い道のりであることが分かります。新しい生活様式を実践しつつ、ワクチンの安定的な供給と世界的な接種率の向上を期待しましょう。



今年の花粉飛散量は、去年の1.8倍だそうですよ！

花粉を飛ばすスギやヒノキの雄花は6月前半から成長を始めます。2020年の6月前半は前年より日照時間が長く、かなりの雄花が成長を始めましたが…7月が記録的な冷夏、日照不足になったために成長できなくなった雄花もあり…最終的な結論としては「2020年春より花粉は多くなりますが、例年よりは少ないでしょう」とのこと。1.8倍と聞くと驚きますが、去年が少なかったのですね。



さて、花粉症の症状と新型コロナウイルス感染症の症状がよく似ていて判断に困るという声をよく耳にします。実際に症状の共通点が多く「症状だけでコロナと花粉症を見分けることは難しい」と言われています。毎年花粉症の症状が出る人が、例年と同じ程度の症状が出ているだけならばそれほど心配する必要はありませんが、例年と異なり、息苦しさ・強い倦怠感・

高熱（38℃以上）などの症状があれば、医療機関に相談した方が良いでしょう。

花粉症の季節は、かゆみを感じて目や鼻を触りがちです。今は指にコロナウイルスが付着している可能性があるため、例年以上に目などを触ることを我慢する必要があります。とにかく、花粉症の自覚がある人は、薬の内服を始める・ゴーグルタイプのメガネを掛ける等々、早め早めの対策をお願いします!!

